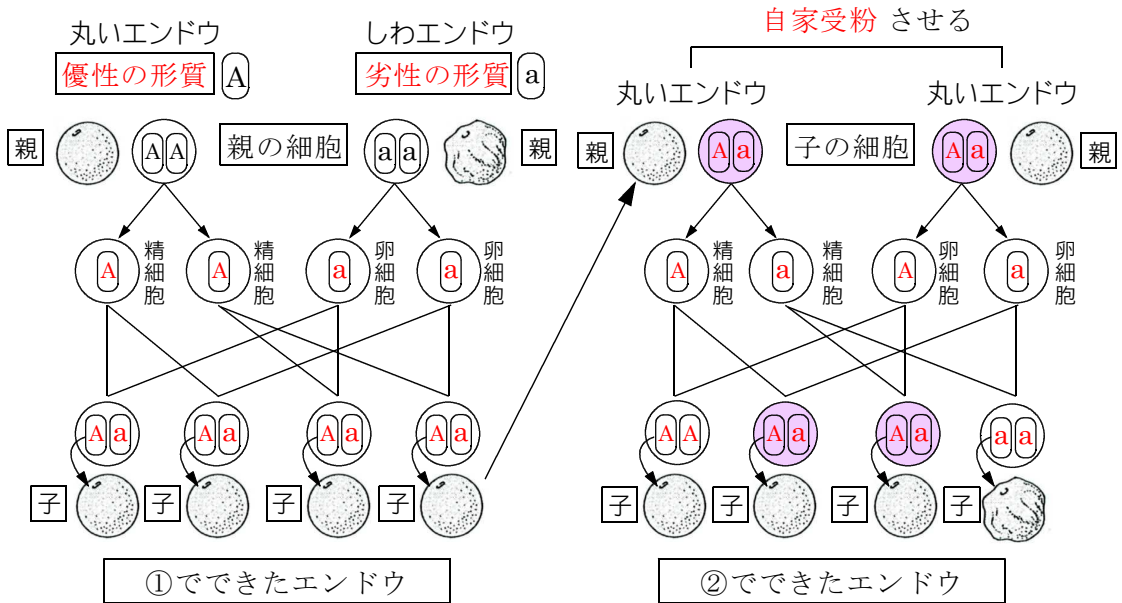
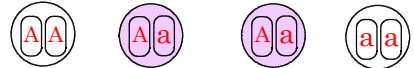


(イ)②でできた種子についての説明として最も適するものを次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。



1. 丸い種子の数はしわのある種子の数の約2倍である。
2. 同じさやの中にある複数の種子は必ず同じ形質である。
3. 種子の形質は2種類であるが、遺伝子の組み合わせは4種類であると考えられる。



- ④ 約半数の種子は、遺伝子の組み合わせが親と同じであると考えられる。